

社会福祉課長の仕事宣言！ 進行管理表

社会福祉課長 橋本有功

重点事業の概要 〔事業名：介護予防教室（二次）〕〔目標値：参加者数 360 人〕

○この事業は、リープロ9「市民の健康な暮らしを支えるプロジェクト」に位置付けられた取組みの「介護予防の推進」を達成するために実施する事業であり、高齢者が住み慣れた地域で出来る限り自立した生活を営むために行うものです。二次予防事業対象者（要介護状態になるおそれがある人）に対して身体運動器官の機能向上、栄養改善、口腔機能向上のための介護予防教室（1クール、3ヶ月）を開催します。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	二次予防事業対象者（1,811人）を把握し、対象者に「元気づくり教室」の案内を行った。前期は、定員120人に対して6月から教室を実施し、身体運動器官向上・栄養改善・口腔機能向上による介護予防を進めた。 （場所：中央老人福祉センター、鳥栖・田代・若葉・旭各まちづくり推進センター）
	自己評価	現時点で前期の参加者は94人と、昨年の前期参加者86名に比して、9%の増となっている。しかし、事業実施定員の120人に満たないことから、更なる参加者の勧奨や周知が必要である。
	下半期への対応	9月末からは後期の「元気づくり教室」（定員120人）を実施する。現在、参加者の勧奨を行っており、申込者は118人となっていることから、定員まで参加者数が増えるよう周知等に努める。
下半期	取組実績	
	自己評価	
	目標値の達成状況	
	次年度への対応	

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

二次予防事業対象者（要介護状態になるおそれがある人）に対する介護予防事業であり、この事業の周知を図ること。

下半期

社会福祉課長の仕事宣言！ 進行管理表

社会福祉課長 橋本有功

重点事業の概要 〔事業名：介護予防教室（一次）〕〔目標値：参加者数 1,500人〕

○この事業は、リープロ9「市民の健康な暮らしを支えるプロジェクト」に位置付けられた取組みの「介護予防の推進」を達成するために実施する事業です。健康な高齢者が生活機能の維持と向上のために実施するもので、一次予防事業対象者（一般高齢者）に対して身体運動器官の機能向上、栄養改善、口腔機能向上を図るための介護予防教室を開催します。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	二次予防対象者とはならなかった健康な高齢者を対象に、町区の老人クラブやいきいきサロン等に出向き、介護予防教室（いきいき健康教室）を9回実施した。
	自己評価	これまで延べ356人の参加者となっている。町区に出向いて教室を開催することで多くの方に参加して頂いている。また、本年度から実施している「ふまねっと運動」も好評を得ている。
	下半期への対応	各地区老人クラブ、いきいきサロン等での教室開催を推進し、更なる参加者の増を目指す。各地区7ヶ所のまちづくり推進センターで、全8回の参加型の教室を実施する。
下半期	取組実績	
	自己評価	
	目標値の達成状況	
	次年度への対応	

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

高齢社会を迎え、高齢者の生活機能の維持と向上に向けた介護予防事業は、ますます重要と
なって行きます。参加者のニーズ把握に努めるとともに、周知を図り、参加者の増加につなげ
ること。

下半期

社会福祉課長の仕事宣言！ 進行管理表

社会福祉課長 橋本有功

重点事業の概要 〔事業名：介護用品支給事業〕〔目標値：支給者数 70人〕

○この事業は、リープロ9「市民の健康な暮らしを支えるプロジェクト」に位置付けられた取組みの「介護支援の充実」を達成するために実施する事業です。家族介護支援のため、在宅の寝たきり高齢者等に対して、紙おむつ等を支給することで、高齢者の在宅生活の継続を支援するとともに、介護者の精神的・肉体的・経済的負担の軽減を図り、住み慣れた地域での安心な生活維持を図ります。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	在宅介護の継続性の確保等のため、在宅の寝たきり高齢者で常時失禁状態にある方に対して、紙おむつ等を支給する。(8月末現在支給実人数:53人)
	自己評価	紙おむつ等の支給により、低所得世帯の介護費用負担の軽減が図られ、在宅介護支援が図られている。
	下半期への対応	対象者の把握や制度の周知に努め、在宅介護の支援を進める。
下半期	取組実績	
	自己評価	
	目標値の達成状況	
	次年度への対応	

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

介護が必要な高齢者の在宅生活を支援するための事業であり、地区社会福祉協議会などと連携を図り対象者の把握に努めること。

下半期

社会福祉課長の仕事宣言！ 進行管理表

社会福祉課長 橋本有功

重点事業の概要〔事業名：地域包括支援センター事業〕

○リープロ9「市民の健康な暮らしを支えるプロジェクト」に位置付けられた取組みの「地域における生活支援体制の充実」を達成するために実施する事業です。高齢者の身近な相談機関として、地域包括支援センターの充実を図り、高齢者の安心安全な生活の維持と確保を進めます。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	現在3か所に設置されている地域包括支援センターと連携・協力を進め、高齢者に対する総合的な相談支援及び福祉サービスにつなげる実態把握調査を行い、高齢者の方々の健康・福祉・介護・医療等の充実を進めている。 また、地域ケア会議を開催して事例の研究・報告を行い、センターの資質向上を図っている。
	自己評価	高齢者への支援に向けた地域包括支援センターの機能が充実してきている。また、地域包括支援センターの活動の周知が図られ、身近な存在としてのセンターの位置付けが理解されてきている。
	下半期への対応	一層の地域包括支援センターとの連携を継続する。また、地域包括支援センター活動の周知に努める。
下半期	取組実績	
	自己評価	
	目標値の達成状況	
	次年度への対応	

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

地域包括支援センターと連携・協力して、高齢者の健康の維持、介護及び介護予防等に取り組むこと。

下半期

社会福祉課長の仕事宣言！ 進行管理表

社会福祉課長 橋本 有功

重点事業の概要 〔事業名：食の自立支援事業〕〔目標値：利用者数 300人〕

○この事業は、リープロ9「市民の健康な暮らしを支えるプロジェクト」に位置付けられた取組みの「地域における生活支援体制の充実」を達成するために実施する事業です。在宅高齢者に配食サービスを行うことにより、食生活の管理と改善を図り、健康で自立した生活の支援を行い、同時に高齢者の安否確認及び状態確認を行います。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	概ね65歳以上の独居高齢者等で食事の調理・調達ができない在宅の高齢者に対して、配食サービスを行うとともに、配食時に安否確認や見守りを実施している。また、健康状態等に変化が見られた場合には市等へ連絡も合わせて行っている。8月の実績で、267人に対して5,876食を配食した。
	自己評価	独居等の高齢者の食生活の支援を行い、健康で自立した在宅生活の支援と安心安全な生活支援を図っている。
	下半期への対応	高齢者等に対して適切な配食サービスを進め、制度の周知等も図る。
下半期	取組実績	
	自己評価	
	目標値の達成状況	
	次年度への対応	

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

独居等の高齢者の食生活の支援を行うことで在宅での生活を支援するものであり、高齢者が孤立しないように配食とともに相談や会話などにも配慮すること。

下半期

社会福祉課長の仕事宣言！ 進行管理表

社会福祉課長 橋本 有功

重点事業の概要 〔事業名：緊急通報システム事業〕〔目標値：利用者数 320人〕

○この事業は、リープロ9「市民の健康な暮らしを支えるプロジェクト」に位置付けられた取組みの「地域における生活支援体制の充実」を達成するために実施する事業です。緊急時の迅速な対応を図るために、ひとり暮らしの高齢者等の自宅に緊急通報システムを整備することで、急病や事故などがあった場合の緊急事態に対して、適切に対応が図られるよう事業を推進し、また、緊急時の関係機関との連携も図っていきます。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	ひとり暮らしの高齢者等で日常生活において常時注意を要する方の居宅に緊急通報システムを設置し、急病や持病等の発生、災害等が起こった際に速やかに対応できるよう緊急援助を実施している。 本年9月1日現在で、261件の緊急通報システムを設置している。
	自己評価	独居高齢者等の緊急時の対応を行うことで、在宅生活の不安の解消や高齢者の生命の安全につながっている。
	下半期への対応	在宅で独居高齢者の生活状況の把握に努め、緊急通報システムの設置が必要な人に対する整備を進める。
下半期	取組実績	
	自己評価	
	目標値の達成状況	
	次年度への対応	

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

独居高齢者の状況把握に努め、この事業の適正な利用の推進を図ること。

下半期

社会福祉課長の仕事宣言！ 進行管理表

社会福祉課長 橋本有功

重点事業の概要〔事業名：ふれあいネットワーク支援事業〕〔目標値：要援護者数 400人〕

○この事業は、リープロ9「市民の健康な暮らしを支えるプロジェクト」に位置付けられた取組みの「高齢者の地域における生活支援体制の充実」を達成するために実施する事業です。在宅のひとり暮らしの高齢者の生活状況を把握するとともに、孤独感を解消するため、住民相互のネットワークを整備し、安心して暮らせる高齢者支援を進めます。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	在宅のひとり暮らし高齢者等の生活状況を把握し、孤独感の解消と日常生活の安全を確保するため、区長、民生委員・児童委員、ボランティア等の協力者による「ふれあいネットワーク事業」を社会福祉協議会に委託して実施している。本年9月1日現在で、364人の高齢者を見守っている。
	自己評価	地域住民や関係者等による高齢者の見守り体制の充実及び安心して暮らせるまちづくりに繋がっている。
	下半期への対応	今後も、社会福祉協議会、区長、民生委員・児童委員、ボランティア等の関係団体や協力者との連携を進め、支援活動を継続する。
下半期	取組実績	
	自己評価	
	目標値の達成状況	
	次年度への対応	

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

高齢者が住み慣れた地域で暮らしていくためにも、地域での見守り体制は欠かせないものです。事業を担う鳥栖市社会福祉協議会と連携して、この事業のさらなる充実を図ること。

下半期

社会福祉課長の仕事宣言！ 進行管理表

社会福祉課長 橋本有功

重点事業の概要 〔事業名：シルバー人材センター補助事業〕〔目標値：会員数 480 人〕

○この事業は、リープロ9「市民の健康な暮らしを支えるプロジェクト」に位置付けられた取組みの「高齢者の生きがいつくりと社会参加の支援」を達成するために実施する事業です。

高齢者に仕事を提供することによって、高齢者自身の活動的な生活能力を生み出すとともに、地域社会に活力を生み出すことを目的としている活動に対して補助による支援を行います。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	高齢者自身の活動的な生活能力を生み出すとともに、地域社会に活力を与えることを目的としたシルバー人材センターの運営に要する経費の助成を行った。 本年8月末現在の会員数は、386人である。
	自己評価	補助金額は、国・市ともに年々減少しているが、シルバー人材センター独自の企画提案事業の補助金を得るなど、健全な運営への努力が見られる。
	下半期への対応	景気回復により、事業収入も回復しつつあるが、シルバー人材センターの会員数の減少が見られ、会員増加に向けて、連携協力を進める。
下半期	取組実績	
	自己評価	
	目標値の達成状況	
	次年度への対応	

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

シルバー人材センターは高齢者の生きがいと社会参加のためにも継続していくことが必要であり、会員数の増加促進や健全な経営に向け検討・協議を進めること。

下半期

社会福祉課長の仕事宣言！ 進行管理表

社会福祉課長 橋本有功

重点事業の概要〔事業名：老人クラブ補助事業〕〔老人クラブ数 目標値：45 団体〕

○この事業は、リープロ9「市民の健康な暮らしを支えるプロジェクト」に位置付けられた取組みの「高齢者の生きがいつくりと社会参加の支援」を達成するために実施する事業です。

鳥栖市老人クラブ連合会等を中心に、各町区の老人クラブによる「健康・友愛・奉仕」の精神により講演会、研修会、ねんりんフェスタ等の活動が行われ、高齢者の社会活動の場として大きな役割を果たしている。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	高齢者の社会活動の場として、地域社会の福祉向上の貢献や生きがいと健康づくりに大きく寄与している鳥栖市老人クラブ連合会に対して、運営経費、活動経費及び単位老人クラブへの運営経費を助成した。
	自己評価	老人クラブ活動支援として有益であり、高齢者の教養向上、健康増進に大きな役割を果たした。今年度は、新規で1クラブ増えたが、1クラブが解散した。会員数は若干増加してはいるが、今後の活動拡大を進める必要がある。
	下半期への対応	老人クラブの役割や活動内容の周知等を進め、老人クラブ会員の拡大を支援する。
下半期	取組実績	
	自己評価	
	目標値の達成状況	
	次年度への対応	

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

老人クラブと連携を図り活動内容について支援をすること。

下半期

社会福祉課長の仕事宣言！ 進行管理表

社会福祉課長 橋本 有功

重点事業の概要 〔事業名：老人福祉センター事業〕

○この事業は、リープロ9「市民の健康な暮らしを支えるプロジェクト」に位置付けられた取組みの「高齢者の生きがいつくりと社会参加の支援」を達成するために実施する事業です。中央老人福祉センターを含め、まちづくり推進センター及び分館について、高齢者福祉の拠点施設等の観点からの事業を実施し、高齢者と地域住民の交流や活動を推進します。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	中央老人福祉センターを介護予防の拠点として位置づけし、まちづくり推進センター及び分館も含め、介護予防事業のほか健康増進、教養の向上及びレクリエーションのための場として事業展開を行った。 また、入浴事業の集約化を行い、7ヵ所あった浴場を中央老人福祉センターと若葉まちづくり推進センターの2ヵ所とし、事業実施日を週3日から週5日へ変更した。
	自己評価	介護予防事業のほか、レクリエーション及び交流の場として事業展開を行い、多くの方に利用いただいた。 入浴事業については、集約化前に比べ入浴者数は微減となっており、集約化の影響は少ないと考えている。
	下半期への対応	引き続き介護予防事業の拠点として、あるいは高齢者の交流の場として各事業を実施していく。
下半期	取組実績	
	自己評価	
	目標値の達成状況	
	次年度への対応	

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

中央老人福祉センターを介護予防の拠点として事業展開を図るとともに、市民交流の場としての活用について検討し、高齢者と地域住民の交流や活動を促進していくこと。

下半期

社会福祉課長の仕事宣言！ 進行管理表

社会福祉課長 橋本有功

重点事業の概要 [事業名：コミュニケーション支援事業]

○この事業は、リープロ9「市民の健康な暮らしを支えるプロジェクト」に位置付けられた取組みの「障害のある人の社会参加・就労の支援」を達成するとともに、情報の平等な共有をするために、聴覚障害者の情報を保障し、コミュニケーションを円滑にすることを目的として実施する事業です。具体的には、手話通訳、要約筆記を行う者の派遣及び設置を行い、聴覚障害者等の社会生活等におけるコミュニケーションを円滑にします。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ●手話通訳奉仕員配置日数 24日（毎週水曜日の社会福祉課窓口業務） ●手話通訳奉仕員派遣回数 4回（病院への派遣） ●要約筆記奉仕員派遣回数 1回（講演会への派遣）
	自己評価	聴覚障害者が気軽にコミュニケーションが取れる体制づくりに努め、各種手続きに係る支援や各種講演会等への参加促進ができた。
	下半期への対応	今後も多くの聴覚障害者にコミュニケーション支援を利用させていただくように、手話通訳、要約筆記の周知に努める。
下半期	取組実績	
	自己評価	
	目標値の達成状況	
	次年度への対応	

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

聴覚障害者の自立や社会参加を促進するためのコミュニケーション支援です。利用促進のため支援内容の周知に努めるとともに、市民に対し支援活動や必要性について広報を行い、障害に対する理解促進を行うこと。

下半期

社会福祉課長の仕事宣言！ 進行管理表

社会福祉課長 橋本有功

重点事業の概要 〔事業名：外出介護事業〕〔目標値：2,700時間〕

○この事業は、リープロ9「市民の健康な暮らしを支えるプロジェクト」に位置付けられた取組みの「障害のある人の社会参加・就労の支援」を達成するために、屋外での移動が困難な障害者について外出支援を行うことにより障害者の自立した生活及び社会参加を促進することを目的とする事業です。具体的には、障害のある方が外出する際に利用するガイドヘルパーの利用に係る費用の一部を給付します。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ●ガイドヘルパー利用支給決定者数 83人（8月末現在） ●ガイドヘルパー利用延べ時間数 942時間（8月末現在）
	自己評価	屋外での移動が困難である障害者・児に外出支援を行うことにより、障害者等の自立生活支援や社会活動範囲の拡大を行う事業として有益である。
	下半期への対応	市ホームページなどの広報等を通じて更なる制度の周知に努め、障害者等の外出機会の創出を図り、事業の適正実施を推進する。
下半期	取組実績	
	自己評価	
	目標値の達成状況	
	次年度への対応	

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

障害者の自立した生活や社会参加の支援のためにも外出介護事業の充実に努めること。

下半期

社会福祉課長の仕事宣言！ 進行管理表

社会福祉課長 橋本 有功

重点事業の概要 〔事業名：福祉タクシー助成事業〕

○この事業は、リープロ9「市民の健康な暮らしを支えるプロジェクト」に位置付けられた取組みの「障害のある人の社会参加・就労の支援」を達成するために重度心身障害者に対し、タクシー料金の一部を助成することにより、日常生活の便宜と社会活動の範囲を拡大することを目的とする事業です。具体的には、重度の障害のある方に対し、福祉タクシー利用券を交付し、タクシー利用料金の一部（基本料金相当額）を助成します。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ●福祉タクシー券交付対象者数 727人（8月末現在） ●福祉タクシー券利用枚数 5,953枚（8月末現在）
	自己評価	バスなどの地方公共交通機関は、運行地域・本数も限られており、また、玄関から玄関への移動が出来るタクシーの有効性を活用することで、重度障害者が社会参加する機会の確保する事業として有益である。
	下半期への対応	制度の周知を更に図っていき、移動手段が限られる重度障害者の自立や社会参加の促進するため、事業を適切に遂行する。
下半期	取組実績	
	自己評価	
	目標値の達成状況	
	次年度への対応	

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

重度心身障害者の日常生活や活動範囲拡大のために、適正な事業実施に努めること。

下半期

社会福祉課長の仕事宣言！ 進行管理表

社会福祉課長 橋本 有功

重点事業の概要 〔事業名：地域活動支援センター事業〕

○この事業は、リープロ9「市民の健康な暮らしを支えるプロジェクト」に位置付けられた取組みの「障害のある人の社会参加・就労の支援」を達成するために障害者等の通所による創作活動又は生産活動の提供、社会との交流促進等の便宜を供与する事業です。具体的には、市直営の地域活動支援センター(鳥栖市身体障害者福祉センター)を運営するとともに市内2カ所の民営地域活動支援センターの運営費を助成します。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ●鳥栖市身体障害者福祉センター（市で運営） 1 か所 ●民営地域活動支援センター運営費助成 （安楽寺作業所・身体障害者鳥栖作業所） 2 か所 ●地域活動支援センター利用延べ人数：3,004 人 実利用人数（登録者）：66 人
	自己評価	地域活動支援センターは、障害者等の日中活動の場、創作活動及び生産活動の場として、また、地域社会との交流促進の場として機能している。
	下半期への対応	市ホームページなどの広報を通じて、身体障害者福祉センター等が行っている講座内容の周知を進め、地域活動支援センター事業の充実に努める。
下半期	取組実績	
	自己評価	
	目標値の達成状況	
	次年度への対応	

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

障害者等の社会参加等を促進するため、各々の施設と連携・協力し事業の充実に努めること。

下半期

社会福祉課長の仕事宣言！ 進行管理表

社会福祉課長 橋本有功

重点事業の概要〔事業名：自立支援給付事業〕

○この事業は、リープロ9「市民の健康な暮らしを支えるプロジェクト」に位置付けられた取組みの「障害のある人の自立支援の充実を図る」ために実施する事業です。具体的には、障害者の地域生活と就労を進め、自立を支援するため、障害者総合支援法に基づき介護給付費、訓練等給付費、補装具を給付します。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ●介護給付費、訓練等給付費支給決定者数： 710人（8月末現在） ●補装具交付件数： 78件（購入51件 修理27件）（9月17日現在）
	自己評価	障害者の状態やニーズに応じ、個別に支給決定が行われる障害福祉サービスを提供することにより、障害者の自立支援や生活の質の向上に努めた。
	下半期への対応	市ホームページなどの広報等を通じて、更なる自立支援給付事業制度の周知に努め、事業の適正実施を推進する。
下半期	取組実績	
	自己評価	
	目標値の達成状況	
	次年度への対応	

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

障害者総合支援法に基づき、障害者の自立を支援するため、介護、訓練及び補装具等を給付するものです。制度の周知を図り適正な給付に努めること。

下半期

社会福祉課長の仕事宣言！ 進行管理表

社会福祉課長 橋本有功

重点事業の概要〔事業名：日常生活用具給付事業〕

○この事業は、リープロ9「市民の健康な暮らしを支えるプロジェクト」に位置付けられた「障害のある人の自立支援の充実を図る」ために実施する事業です。具体的には、重度障害者等に対し、自立生活支援のための日常生活用具を給付又は貸与すること等により、日常生活の便宜を図ります。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	●日常生活用具給付件数：209件（9月17日現在）
	自己評価	身体障害者（知的障害者の一部を含む。）の自立生活には、日常生活用具の給付及び貸与は有効であり、日常生活の利便性向上にも効果がある。このため、障害のある人が住み慣れた地域で社会参加しながら、自立した生活の実現に寄与している。
	下半期への対応	障害者総合支援法の地域生活支援事業に位置づけられた事業であり、今後、日常生活用具の給付事業を適正に実施する。
下半期	取組実績	
	自己評価	
	目標値の達成状況	
	次年度への対応	

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

障害者の自立支援のために継続して事業推進に努めること。

下半期

社会福祉課長の仕事宣言！ 進行管理表

社会福祉課長 橋本有功

重点事業の概要 〔事業名：日中一時支援事業〕〔目標値：1,731日〕

○この事業は、リープロ9市民の健康な暮らしを支えるプロジェクトに位置付けられた取組みの「障害のある人の自立支援の充実を図る」ために実施する事業です。具体的には、一時的に見守り等の支援が必要な障害者等に対し日中における活動の場を提供し、社会に適応するための日常的な訓練を行うことでその家族の就労及び一時的な休息を支援します。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ●日中一時支援支給決定人数 : 98人(8月末現在) ●日中一時支援利用延べ日数 : 689日(8月末現在)
	自己評価	一時的な見守りが必要な障害者(児)に対する日中一時支援事業の利用ニーズは高く、障害者等の生活訓練等の在宅支援に努めた。
	下半期への対応	市ホームページなどの広報等を通じて更なる日中一時支援事業制度の周知に努め、今後も、制度実施の適正推進を進める。
下半期	取組実績	
	自己評価	
	目標値の達成状況	
	次年度への対応	

所管部長(リープロ担当部長)の指示

上半期

障害者が社会に適応していくためにも必要な事業であり、その家族の就労及び一時的な休息の支援にもつながります。事業の周知を図り利用者の増加に努めること。

下半期

社会福祉課長の仕事宣言！ 進行管理表

社会福祉課長 橋本有功

重点事業の概要〔事業名：障害児通園事業〕

○この事業は、リープロ9市民の健康な暮らしを支えるプロジェクトに位置付けられた取組みの「障害のある人の自立支援の充実を図る」ために実施する事業です。具体的には、心身の発達の遅れを早期に発見するとともに、早期に適切な療育や訓練及び個別プログラムに沿った集団療育を「ひかり園」で実施します。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ●ひかり園（障害児通園施設）開所日数 107日（8月末現在） ●ひかり園（障害児通園施設）利用登録者数 58人（8月末現在） ●ひかり園（障害児通園施設）延べ利用者数 1,053人（8月末現在）
	自己評価	心身の発達や成長の遅れを早期に発見し、遅れや心配のある乳幼児に、早期に適切な療育や訓練を行い、家庭から通う保護者と乳幼児や児童、支援者との連携を深め、日常生活に必要な基本的な生活習慣及び、集団生活への為の支援を行った。
	下半期への対応	今後も、障害児に対する心身の発達に関する支援について、利用者のニーズ把握に努め、療育内容の充実を図る。
下半期	取組実績	
	自己評価	
	目標値の達成状況	
	次年度への対応	

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

早期に適切な療育や訓練及び個別プログラムに沿った集団療育を必要とする利用者のニーズは高い。このためにも療育内容にも一層の充実を努めること。

下半期

社会福祉課長の仕事宣言！ 進行管理表

社会福祉課長 橋本有功

重点事業の概要 〔事業名：相談支援事業〕〔目標値：200人〕

○この事業は、リープロ9「市民の健康な暮らしを支えるプロジェクト」に位置付けられた取組みの「障害のある人の地域生活への支援体制の充実を図る」ために実施する事業です。具体的には、鳥栖・三養基地区総合相談支援センターにおいて、障害者等及びその保護者・介助者等からの相談に応じ、必要な情報の提供や権利擁護のために必要な援助を行う。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ●総合相談支援センター 相談件数 : 3,430件 (8月末現在) ●総合相談支援センター 相談実人数 : 136人 (8月末現在)
	自己評価	総合相談支援センターに対する相談件数は、毎年増加傾向にある。障害者やその家族に対し、日常生活支援や障害者総合支援法に基づく福祉サービスなどの相談支援を行った。
	下半期への対応	鳥栖・三養基地区自立支援協議会を活用しながら、関係機関との連携を図り、地域がかかえる課題や障害福祉を推進する。
下半期	取組実績	
	自己評価	
	目標値の達成状況	
	次年度への対応	

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

相談件数も増加しており、関係機関とも連携を図りながら、事業の充実に努めること。

下半期

社会福祉課長の仕事宣言！ 進行管理表

社会福祉課長 橋本有功

重点事業の概要〔事業名：障害者理解促進事業〕

○この事業は、リープロ9市民の健康な暮らしを支えるプロジェクトに位置付けられた取組みの「障害のある人の地域生活への支援体制の充実を図る」ために、障害や障害者に対する偏見をなくし、理解を促進することを目的とした事業です。具体的には、障害者理解促進イベント開催、小学校等への出前講座、障害者の居場所づくり等を実施します。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ●障害者理解促進事業実行委員会開催回数 : 4回 ●障害者の居場所づくり（当事者・保護者交流会）開催回数 : 5回
	自己評価	障害者理解促進イベントの企画について、福祉団体や様々な市民団体に参加してもらうことにより、ネットワークの構築に努めた。また、当事者交流会や保護者交流会も行うことにより、悩みや情報の共有できる場の提供に努めた。
	下半期への対応	各団体と連携を深めながら、3月の音楽イベントの実施に向けて準備を進める。また、毎月、社会福祉会館で開催しているホットスペースの参加者の増加に努める。
下半期	取組実績	
	自己評価	
	目標値の達成状況	
	次年度への対応	

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

障害者に対する偏見をなくし理解を促進するために、各団体と連携し事業の充実を図ること。

下半期

社会福祉課長の仕事宣言！ 進行管理表

社会福祉課長 橋本有功

重点事業の概要〔事業名：障害者虐待防止対策事業〕

○この事業は、リープロ9市民の健康な暮らしを支えるプロジェクトに位置付けられた取組みの「障害のある人の地域生活への支援体制の充実を図る」ために、障害者虐待の防止及び早期発見、虐待を受けた障害者の迅速かつ適切な保護、養護者に対する適切な支援並びに関係機関との連携協力等の障害者虐待防止対策を目的とした事業です。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	●関係機関である鳥栖市障害者虐待防止センターと連携し、個別ケース等について協議を2回行った。
	自己評価	平成25年度より「障害者虐待防止センター」を「特定非営利活動法人総合支援センターキャッチ」内に移転し、虐待の早期発見・早期対応に取り組み、障害者を虐待から守るように努めている。また、福祉施設において「障害者虐待防止法」に関する出前講座を行うなど制度の周知に努めた。
	下半期への対応	関係機関と連携し、虐待の未然防止や早期発見・早期対応に取り組み、障害者の権利利益の擁護に努める。
下半期	取組実績	
	自己評価	
	目標値の達成状況	
	次年度への対応	

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

関係機関と連携し、障害者への虐待の早期発見・早期対応に取り組み、障害者を虐待から守るように努めること。

下半期